

# 水産の窓

0m深は「やや高め～高め」、

100m深は本県北部141° E以西で「やや低め～平年並」、141° E以东で「やや高め～高め」、南部で「平年並～高め」で推移 (令和4年7月の海況と今後の予測)

## 1 海洋観測結果 (7/4～5: 調査船「いばらき丸」)

- 水深別水温図を図2、3、4に、鉛直図を図5に示しました。
- 水温は0m深で20～26℃台、50m深で13～18℃台、100m深で10～15℃台、200m深で9～12℃台でした (図2)。
- 前月と比較すると、0m深では全ての地点で昇温傾向、50～200m深では141° E以西と犬吠埼沖で降温傾向、他では昇温傾向となりました (図3)。
- 平年と比較すると、0m深では「平年並～極めて高め」、50～200m深では犬吠埼沖で「やや低め～平年並」、他では「やや高め～高め」となりました (図4)。
- 潮流は会瀬～大洗定線の141° 40' E以东と鹿島～犬吠埼定線の141° 20' E以东で逆潮傾向となりました。

## 2 本県周辺海況の現況

- 本県海域の0m深水温は20～26℃となっています (図1)。
- 黒潮は犬吠埼の東75マイルを北東に流れています。黒潮の北限は146° E付近で37° Nまで達しており、北偏しています (7月11日発行の海洋速報より)。
- なお、福島県沖の下層には親潮系冷水が停滞しています。

## 3 今後1か月の見通し

- 黒潮の北偏は継続し、離岸傾向となる見込みです。本県沖合域 (141° E以东) では、断続的に暖水波及の影響を受ける見込みです。
- 0m深の水温は日射量の増加と気温の上昇に伴い、全域で「やや高め～高め」で推移するでしょう。
- 1か月後の本県北部の100m深水温は、141° E以西では親潮系冷水の影響により「やや低め～平年並」、141° E以东では「やや高め～高め」で、本県南部は、概ね「平年並～高め」で推移するでしょう。

(参考) 7月の0m深水温 (142° E以西) の30年平均 (1991-2020)

会瀬: 19～21℃台 大洗: 19～21℃台 鹿島: 19～22℃台 犬吠埼: 19～23℃台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。 (回遊性資源部 小熊 進之介)

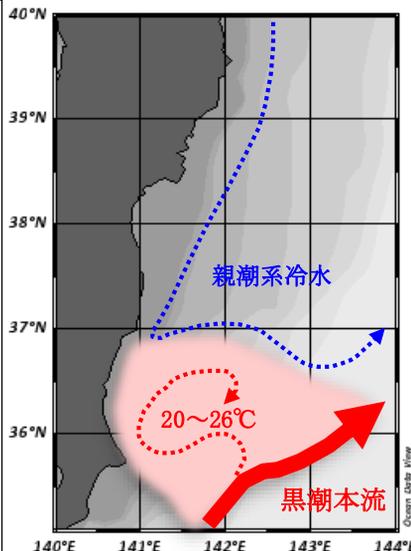


図1. 海況の現況 (7月10日)

※水温は平年値と比較して、  
±1.5℃が「平年並」、  
±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」、  
±4.0～6.0℃が「高め・低め」、  
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

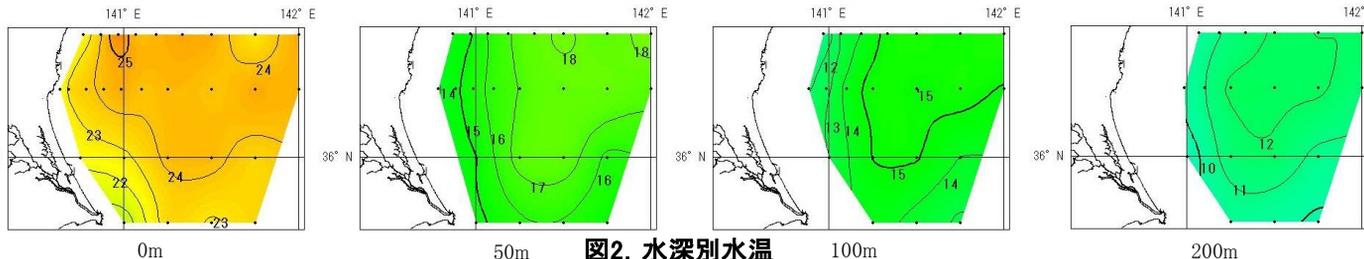


図2. 水深別水温

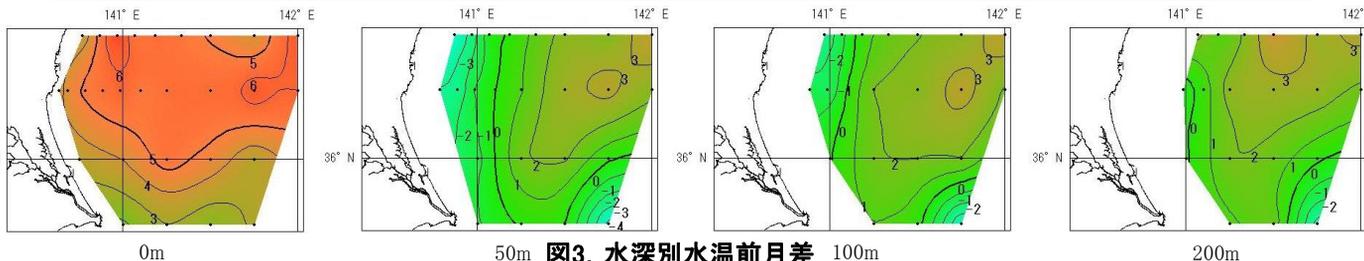


図3. 水深別水温前月差

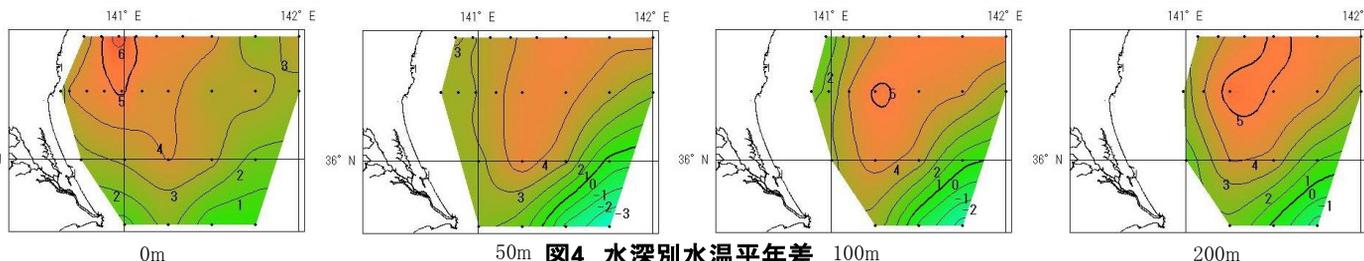


図4. 水深別水温平年差

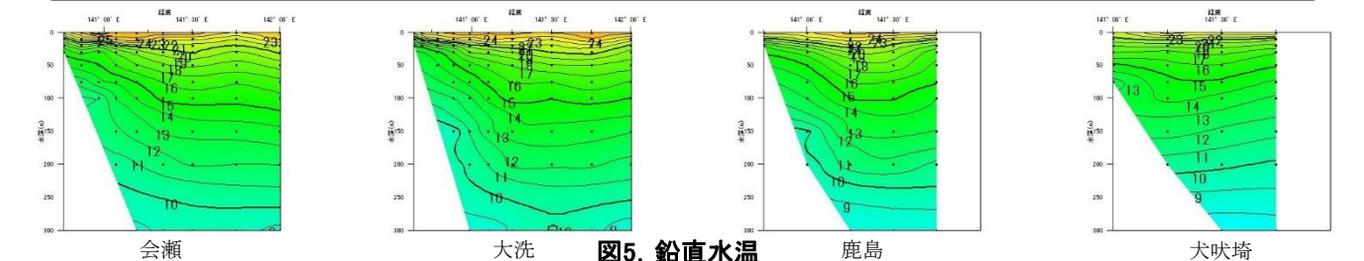


図5. 鉛直水温